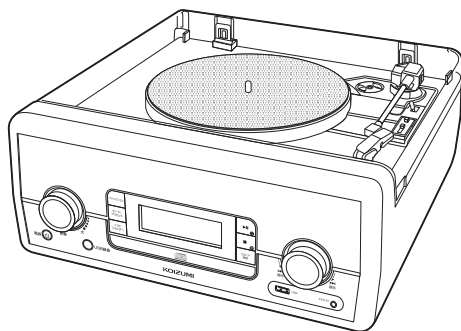


## 取扱説明書

(保証書別途添付)

このたびはコイズミ マルチレコードプレーヤーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。正しくご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

なお、お読みになられたあとも、保証書とともにお使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。



## 目次

安全上のご注意	1~3
ご使用になる前に	4~5
CDについて	5
設置場所について	5
レコード盤について	5
各部のなまえ	6~7
電源について	8
FMRラジオを聴く	9~10
お好みの放送局を記憶させる(プリセット機能)	10
記憶させた放送局を聴く	10
CDを聴く	11~13
ディスプレイの表示について	12
リピート演奏	12
プログラム演奏	13
音楽ファイルについて	14~15
USBメモリーについて	14
再生の準備	14
フォルダーの表示について	15
再生の順番	15

USBメモリーの音楽データを聴く	16~17
リピート演奏	17
レコードを聴く	18~20
他の音響機器をつないで聴く	21
他の音響機器で演奏を聴く	22
USBメモリーに録音する	23~25
録音データについて	23
CDから録音する	23
レコード盤から録音する	24
他の音響機器から録音する	25
お手入れのしかた	26
本体のお手入れ	26
レコード針のお手入れ	26
仕様	27
故障かな?と思われたときは	28~29
消耗部品について	30
アフターサービスについて	30
お客様の個人情報のお取り扱いについて	31
お客様相談窓口	31

# 安全上のご注意

- \*ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- \*ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



**警告**

誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの



**注意**

誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負ったり、物的損害の可能性のあるもの

## 絵表示例と絵表示の意味



⊘ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

※お読みになられた後は、お使いになる方がいつも見られるところに必ず保管してください。

# 安全上のご注意

## 警告

煙や異臭、異音が出たり、落下や破損したときは本体の電源を切り、コンセントからACアダプターを抜く

そのまま使用すると、事故の原因となります。必ず使用を中止し、販売店に修理をご依頼ください



本体内部に異物や水などが入った場合は、本体の電源を切り、コンセントからACアダプターを抜く

そのまま使用すると、事故の原因となります。必ず使用を中止し、販売店に修理をご依頼ください

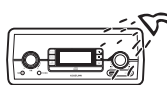
本体内部に金属物や燃えやすいものを入れない  
事故や故障の原因となります。



ACアダプターのコードが傷んだら(芯線の露出、断線など)使用しない  
火災・感電の原因となります。



風呂場では使用しない  
火災・感電の原因となります。



電源はAC100V専用コンセントを使用する  
(日本国内専用)  
火災・感電の原因となります。



本体の通風孔、CDの挿入口などから金属類や燃えやすいものなどを差し込んだりしない  
お客様のいるご家庭では特にご注意ください。

ACアダプターのコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない  
コードが破損して火災・感電の原因となります。

ACアダプターのコードの上に重いものをのせたり、コードが本体の下敷きにならないようにする

コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気が付かず、重いものをのせてしまうことがあります。



万一、本体を落としたり、破損した場合は、本体の電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

雷が鳴ったら、機器の金属部やACアダプターに触れない また屋外で使用しない

落雷や誘電雷により感電・やけど・機器の焼損の原因となります。使用しているときはすぐに機器から離れてください。



濡れた手でACアダプターを抜き差ししない  
感電の原因となることがあります。



改造はしない 修理技術者以外の人は分解したり修理をしない

事故やケガの原因となります。修理はお買い上げの販売店または小泉成器株式会社「修理センター」にご相談ください。



電源プラグは清潔にする  
刃および刃の取付面にほこりが付着している場合は拭き取る

ショート・火災の原因となります。



# 安全上のご注意

## ⚠ 注意

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない

落ちたり、倒れたりしてケガの原因となることがあります。



油煙や湯気が当たるような場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。

異常に温度が高くなる場所に置かない

本体の変形・変質・火災・故障の原因となることがあります。異常に温度が高くなる場所、直射日光の当たる高温の場所（自動車内など）には置かないでください。



ACアダプターのコードを熱器具に近付けない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



湿気やほこりの多い場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。

レーザー光線をのぞき込まない（CD部）

レーザー光が目当たると視力障害を起こすことがあります。



テレビ、オーディオ機器等を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する  
接続は指定のコードを使用する



はじめから音量を上げすぎない

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。



旅行などで長期間、ご使用にならないときは必ずACアダプターをコンセントから抜いておく  
火災の原因となることがあります。

お手入れの際は安全のためACアダプターをコンセントから抜いて行う

感電の原因となることがあります。



ACアダプターを抜くときはコードを引っ張らない

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

移動させる場合は、本体の電源を切り、必ずACアダプターをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行う

接続コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



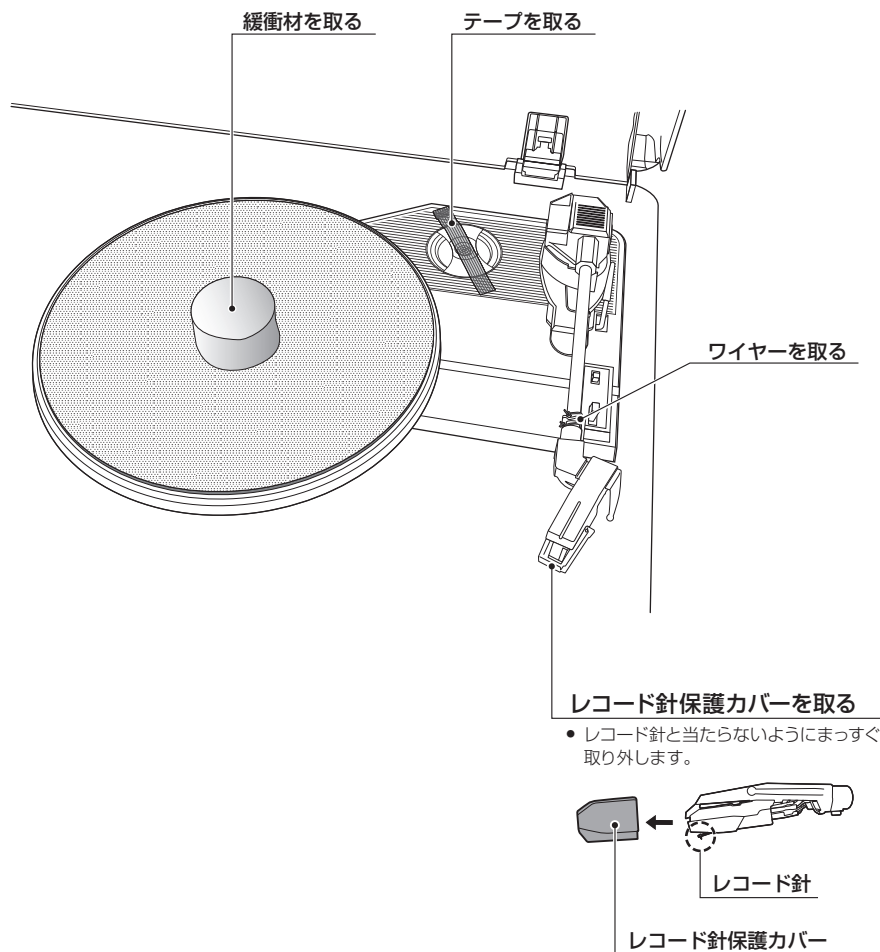
幼児がCD挿入口に、手を入れないように注意する

ケガの原因となることがあります。

- お客様が録音したものは個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- 本機の不具合により録音や再生ができなかった場合、および録音内容が破損または消去された場合など、いかなる場合においても録音内容の補償についてはご容赦ください。  
いかなる場合においても当社にて録音内容の修復、復元、複製などはいたしません。
- 本機はすべてのUSBメモリーに記録されている音楽ファイルの再生を保証するものではありません。
- 地震・雷・風水害などの天災、および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関しては、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書（本書）の記載内容を守らないことにより生じた損害に関しては、当社は一切責任を負いません。

# ご使用になる前に

ご使用になる前に、必ず下図の梱包材料を取り外してください。



# ご使用になる前に

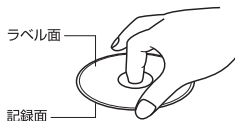
## CDについて

### CDの種類

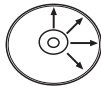
- CD-DA(Compact Disc Digital Audio)マークの入ったディスクをご使用ください。
- CD-R/RWの場合は、CD-DA(Compact Disc Audio)フォーマットで記憶されたディスク(ファイナライズされたもの※)を再生することができます。ただし、ディスクおよび記録に使用したレコーダーの状態によっては再生できない場合があります。  
※音楽用CD-R/RW再生対応機器で再生できるように処理すること。
- コピーコントロールCDやCD規格外の特形状ディスクを使用される場合、再生・音質の保証はしかねます。

### CDの取り扱い

- 記録面に触れないように、CDの端を持ってください。



- CDに指紋や汚れが付いたときは、やわらかい布などで、中心から端へとふき取ってください。
- 記録面やラベル面に、紙やテープなどを貼らないでください。またラベルがはがれたCDは使用しないでください。



### ご注意

円形以外(ハート型など特殊形状)のディスク、ひびやそりのあるディスクは絶対に使用しないでください。

## CDのレンズ結露について

CDに使用されるレンズは、周辺の温度が急激に変化した場合、レンズが結露することがあります。レンズに水滴がついた状態では正しく演奏できません。このような場合、電源を入れ、CDドアを開けたまま約1～2時間たってから使用を開始してください。

## 設置場所について

- 本機を水平な場所に置いてご使用ください。
- ラジオをきれいな音でお楽しみになるには、なるべく窓ぎわの電波の届きやすいところに置いてご使用ください。

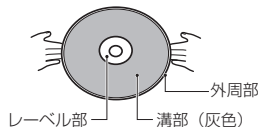
### ご注意

- 次のような場所では使用・保管しないでください。
  - 直射日光を浴びる場所や暖房器具のそば。
  - ちりやほこりなどの多い場所。
  - 風呂場など湿気の多い場所。
  - テレビやチューナーなどのそば。雑音や画像の乱れが起こる場合があります。できるだけ離すか、同時使用を避けてください。
- 温度が低い環境で操作されますと、まれにCDドアの開閉動作が遅くスムーズでない場合があります。その場合は、あたたかい場所に移動し、しばらくしてから使用してください。
- キャッシュカードや定期券などの磁気カード類、録音テープ、時計などを近づけないでください。
- レンズにほこりがつかないように使用しないときは、CDドアを開けておいてください。またレンズにはさわらないようにしてください。
- 本体の分解・改造は絶対にしないでください。

## レコード盤について

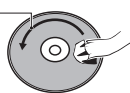
### レコード盤の取り扱い

- 溝部に触れないように、外周部を持つか、レーベル部と外周部を支えるように持ってください。



- レコード盤にほこりや指紋がつくと、雑音などの原因となります。市販のレコードクリーナーなどを使用して清掃してください。レコードクリーナー以外の化学薬品(シンナーなど)を使用しないでください。
- レコードクリーナーを使用する場合は、溝に沿って円を描くように拭き取ってください。

溝に沿って清掃



### ご注意

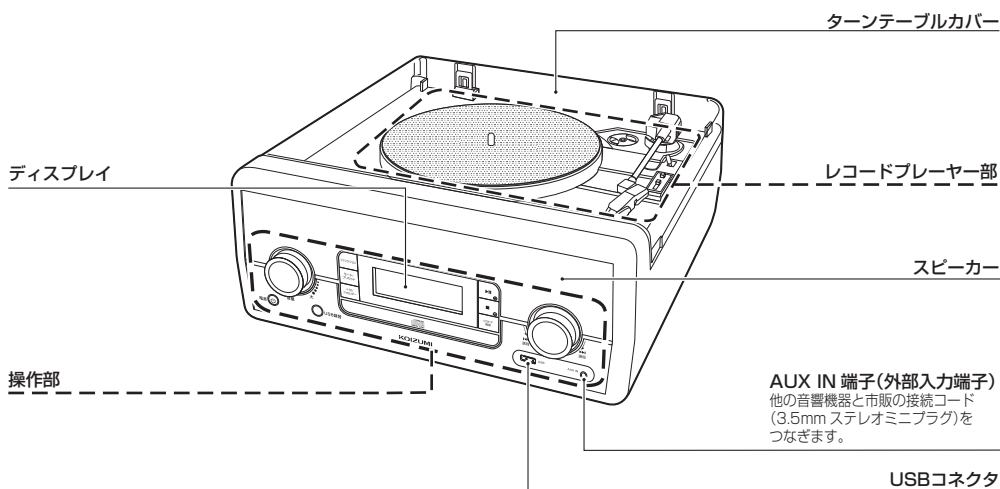
溝部に傷のあるレコードやひびの入ったレコード盤を使用するとレコード針を痛める可能性があるので使用しないでください。

### レコード針について

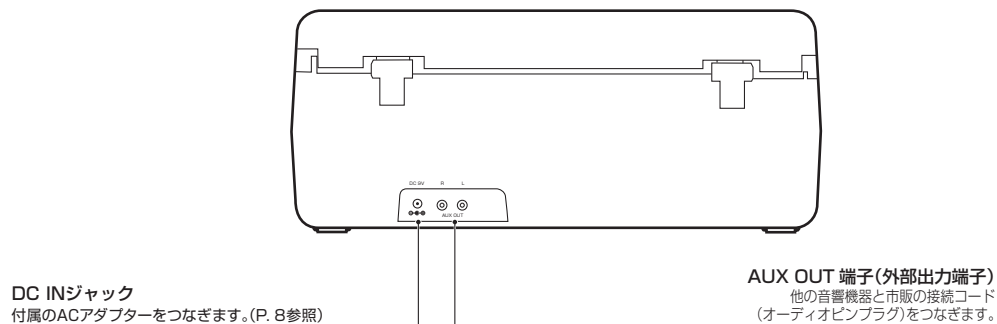
- レコード針は、針先が曲がったり、破損しないように丁寧に扱ってください。曲がったり破損したレコード針を使用すると、レコードを傷めたり故障の原因となります。
- レコード針は、約200時間使用したら、当社指定のレコード針に交換してください。(P.30参照) 長時間使用すると音が悪くなる時があります。

# 各部のなまえ

## 本体

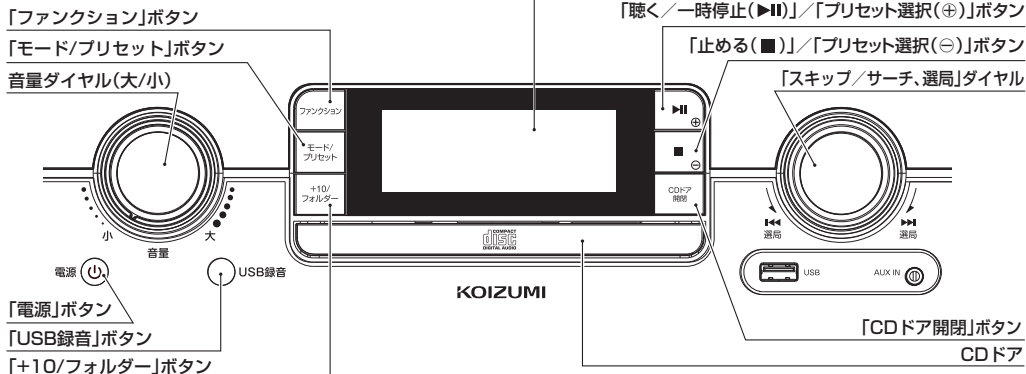


## 背面

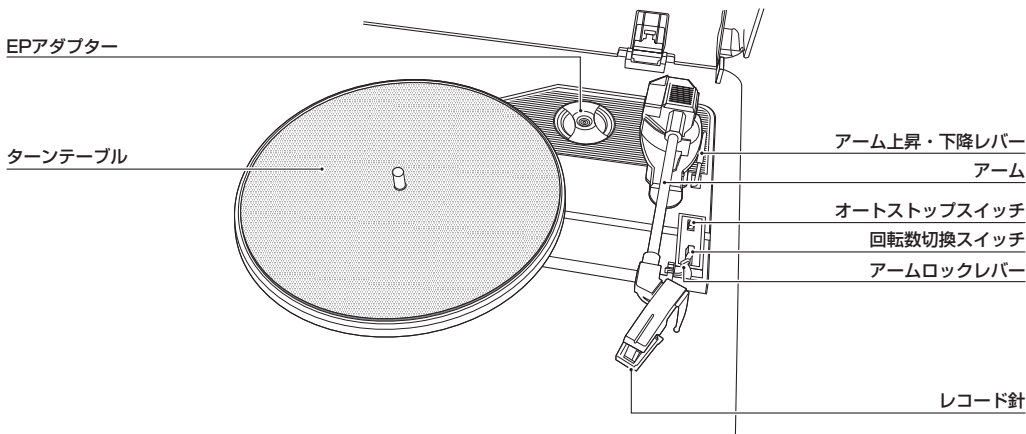


# 各部のなまえ

## 操作部

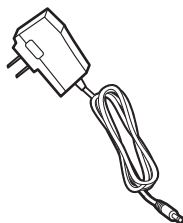


## レコードプレーヤー部



## 付属品

※以下の付属品が同梱されていることを確認してください。



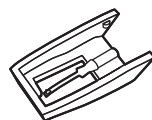
ACアダプター  
(型番：SAD-9020)



取扱説明書 (本書)



保証書



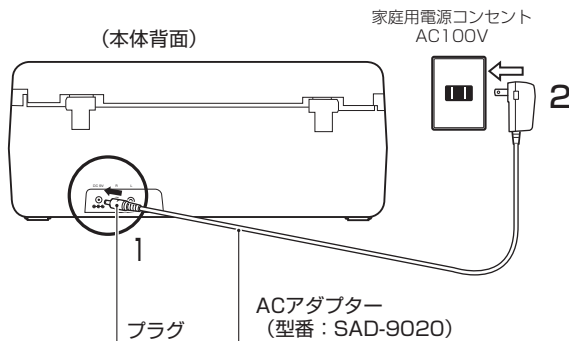
レコード針 (交換用)



# 電源について

1. ACアダプターのプラグを本体背面のDC INジャックへ差し込む。

2. ACアダプターをコンセントへ差し込む。



※付属のACアダプターは、SAD-9801専用です。他の製品には使用しないでください。

※使用中、熱くなることがありますが異常ではありません。

## ご注意

- ACアダプターを抜き差しするときは、電源を「切」にしてから行ってください。
- ACアダプターを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端のACアダプターを持って引き抜いてください。感電やショートして発火することがあります。
- 電源コードの上に重いものをのせないでください。コードに傷がついて、火災や感電の原因となります。

# FMラジオを聴く

本体を動かし、もっとも良く聴こえるところに設置してください。(アンテナは本体内蔵)

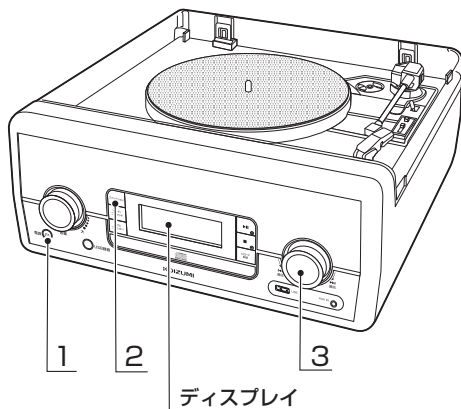
## 1. 「電源」ボタンを押し、「入」にする。

- ディスプレイが表示します。

## 2. 「ファンクション」ボタンを押し、ディスプレイの表示を[FM]にする。



## 3. 「スキップ/サーチ、選局」ダイヤルでお好みの局を選ぶ。



### ご注意

- AM放送を聴くことはできません。

#### 雑音が多い場合

本機の位置を窓際に移動することで、雑音が少ない場合があります。

#### ラジオを切る

- 「電源」ボタンを押し、「切」にする。
- ディスプレイの表示が消えます。

#### オートチューニング (受信できる局を自動的に探します)

「スキップ/サーチ、選局」ダイヤルを右または左に回し続ける。

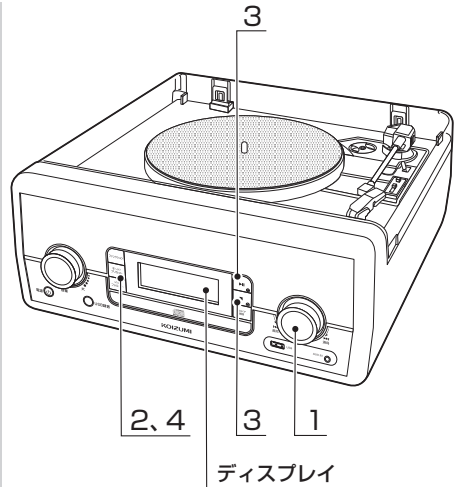
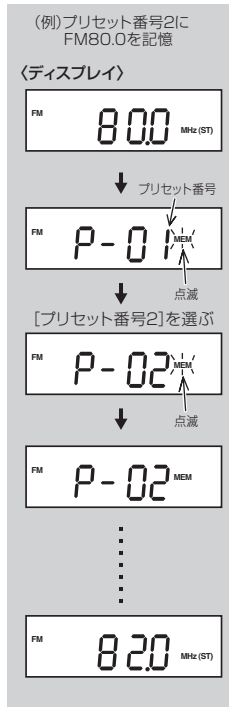
# FMラジオを聴く

## お好みの放送局を記憶させる (プリセット機能)

最大20局まで記憶させることができます。

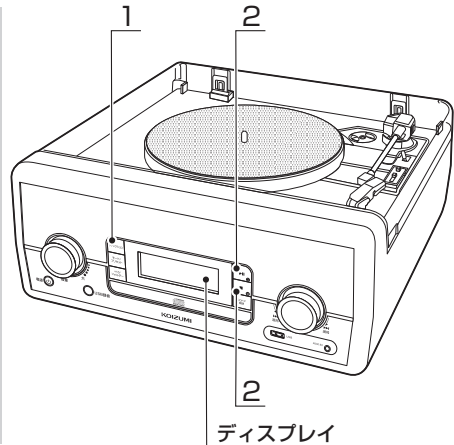
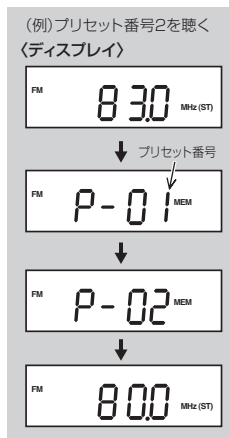
※新しい局を記憶させると、そのプリセット番号に記憶されていた前の局は消えます。

1. 「スキップ/サーチ、選局」ダイヤルでお好みの放送局を選ぶ。
2. 「モード/プリセット」ボタンを押し、プリセット番号を表示させる。
3. 「プリセット選択(⊕)」ボタンまたは、「プリセット選択(⊖)」ボタンで記憶させたいプリセット番号を選ぶ。
4. 「モード/プリセット」ボタンを押す。  
※確定させないと記憶されません。  
必ず「モード/プリセット」ボタンを押してください。
5. 1～4の操作を繰り返し放送局を記憶する。  
※約5秒以内に操作しないと周波数表示画面に戻ります。



## 記憶させた放送局を聴く

1. 「ファンクション」ボタンで [FM] にする。
2. 「プリセット選択(⊕)」ボタンまたは、「プリセット選択(⊖)」ボタンで聴きたいプリセット番号を選ぶ。



# CDを聴く

※CDドア内部にCDレンズ保護シートがはめられています。  
ご使用前に保護シートを取り外してください。

## 1. 「電源」ボタンを押し、「入」にする。

- ディスプレイが表示します。

## 2. 「ファンクション」ボタンを押し、ディスプレイの表示を[cd]にする。

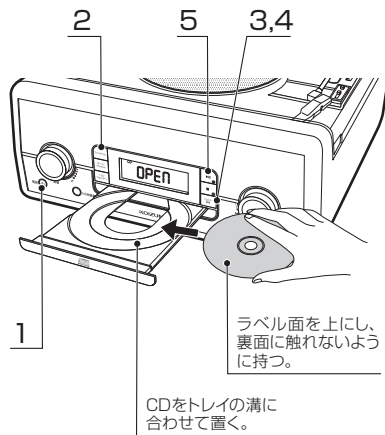
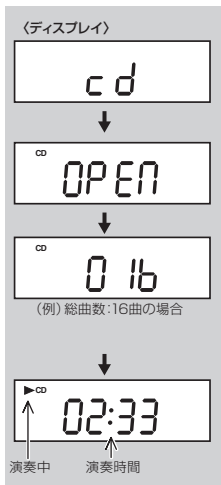
## 3. 「CDドア開閉」ボタンを押し、CDドアを開けCDをセットする。

## 4. 「CDドア開閉」ボタンを押し、CDドアを閉じる。

- 総曲数が表示されます。
- CDドアを手で押して閉めないでください。故障の原因となります。

## 5. 「聴く／一時停止(▶||)」ボタンを押して、演奏を開始する。

- 1曲目から演奏が始まります。
- 全曲演奏が終わると自動停止します。



### ご注意

- 本機は、CD-R/RW録音機器で作成した音楽用CD-R/RWディスクの再生も可能です。ただし、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。
- CD-R/RWを入れた場合、演奏できる状態になるまで15秒前後かかります。
- コピーガード付のCDは再生できない場合があります。
- 直接音楽ファイルを記録したディスク(MP3ディスクやWMAディスク等)は再生できません。

音量を調節する	音量ダイヤルを回す。		演奏中に
演奏を止める	「止める(■)」ボタンを押す。		
一時停止する	「聴く／一時停止(▶  )」ボタンを押す。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 演奏に戻るにはもう一度押す。</li> </ul>	曲の頭を探す(スキップ)	一時停止中/停止中に
早送りをする 早戻しをする	<p><b>演奏中に</b></p> <p>「スキップ/サーチ、選局」ダイヤルを右または左に回し続ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ダイヤルから指を離すと演奏に戻る。</li> </ul> <p><b>一時停止中に</b></p> <p>「スキップ/サーチ、選局」ダイヤルを右または左に回し続ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「聴く／一時停止(▶  )」ボタンを押すと演奏が始まる。</li> </ul>		<p>「スキップ/サーチ、選局」ダイヤルを右または左に回す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「+10/フォルダー」ボタンを長押しすると10曲飛ばして選曲できます。</li> </ul>

# CDを聴く

## ディスプレイの表示について

ディスプレイに [ REP ] [ Err ] が表示される場合、以下の項目を確認してください。

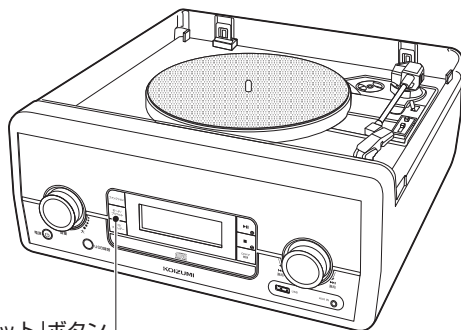
- CDが正しくセットされていますか？
- CDの裏表を間違えていませんか？
- CDが汚れたり、傷ついていませんか？
- 使用できないCDを挿入していませんか？(P. 5参照)

## リピート演奏

### 演奏中に

「モード/プリセット」ボタンを押し、リピート演奏のモードを選ぶ。

- 押すごとにリピート演奏のモードが変わります。



「モード/プリセット」ボタン

〈ディスプレイ〉

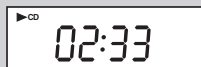
1曲リピート演奏



全曲リピート演奏



通常演奏



- 1曲リピート演奏 [REP 1] …… お好みの1曲を繰り返し演奏します。
- 全曲リピート演奏 [REP ALL] …… 全曲を繰り返し演奏します。

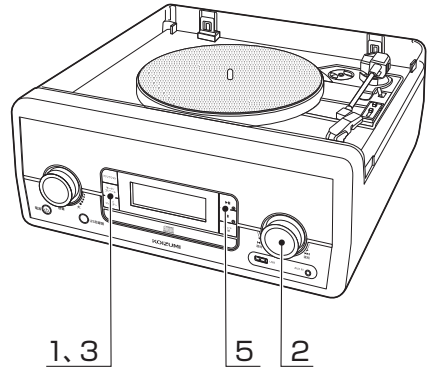
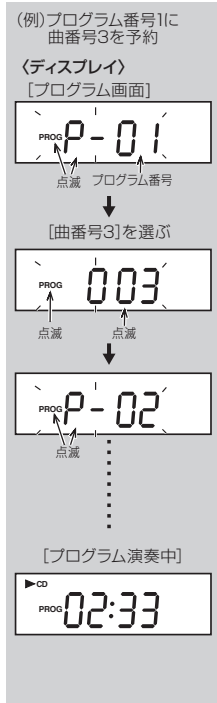
# CDを聴く

## プログラム演奏 (お好みの曲を予約順に聴く)

約5秒以内に操作しないと、初期状態に戻ります。

### 停止中に

1. 「モード/プリセット」ボタンを押す。  
• プログラム画面を表示します。
2. 「スキップ/サーチ、選局」ダイヤルを右または左に回し、お好みの曲を選ぶ。
3. 「モード/プリセット」ボタンを押す。
4. 上記2、3の操作を繰り返し、予約していく。  
• 最大20曲まで予約できます。
5. 「聴く/一時停止(▶||)」ボタンを押す。  
• プログラム演奏が始まります。



### プログラム演奏中に

プログラム内容を  
確認する

1. 「止める(■)」ボタンを押す。
  2. 「スキップ/サーチ、選局」ダイヤルを右または左に回す。  
(回すたびにプログラム内容が表示されます。)
- ※再びプログラム演奏に戻るには  
「聴く/一時停止(▶||)」ボタンを押す。

プログラム演奏を  
終了する

### プログラム演奏中に

「止める(■)」ボタンを押す。  
(プログラム内容は保持)

※保存されたプログラム内容を再度演奏する場合は、  
「聴く/一時停止(▶||)」ボタンを押す。

※「止める(■)」ボタンを2回押すと、  
プログラム演奏が解除されます。

# 音楽ファイルについて

- 本機で再生できるのはMP3ファイル・WMAファイルのみです。
- 著作権保護付きの音楽ファイルは再生できません。
- ID3タグには対応していません。

■USBメモリーに保存された音楽ファイル(MP3ファイル・WMAファイル)を聴くことができます。

## USBメモリーについて

USB2.0 FAT16/32 対応

- USBマスタレージクラス対応のUSBメモリーをご使用ください。

それ以外のUSBメモリーを使用すると、正常に再生できない場合があります。また、上記規格に準拠したUSBメモリーでも種類や形状によっては、正常に再生できない場合があります。

- 使用するUSBメモリーがUSBマスタレージクラスに対応しているかどうかは、USBメモリーメーカーにお問い合わせください。

万一、他の機器を接続して発生した故障や破損、データの損失などについては、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

## 再生の準備

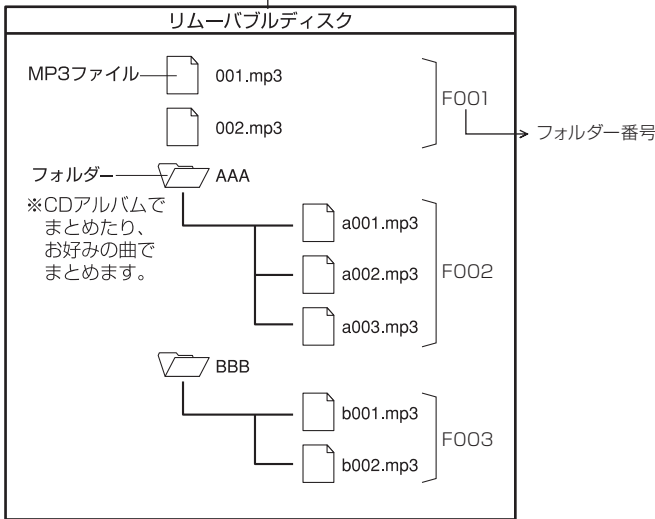
下図を参照し、お持ちのパソコンでUSBメモリーにMP3ファイル・WMAファイルを転送してください。

- リムーバブルディスク内にMP3ファイル・WMAファイルを直接転送した場合、本機はUSBメモリー自体をひとつのフォルダーとして認識します。

※下図のファイル名/フォルダー名は、説明のため便宜上につけたものです。  
ファイル名/フォルダー名を変更する必要はありません。

### USBメモリー内の構成

→パソコン上でのUSBメモリーを示します。

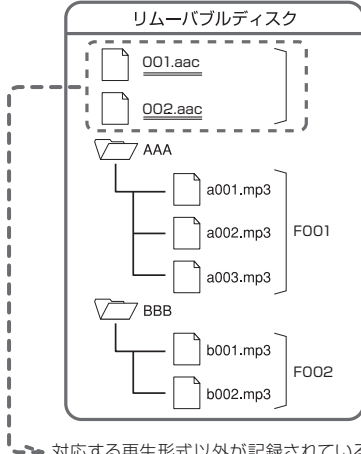


# 音楽ファイルについて

## フォルダーの表示について

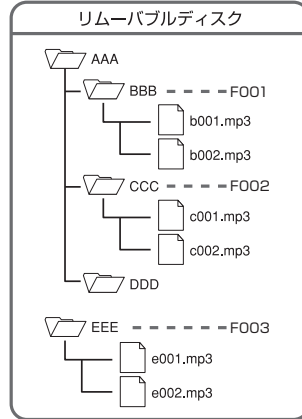
下図のような場合、フォルダー番号が本機のディスプレイには表示されません。  
ファイル転送時にはご注意ください。

- 対応する再生形式以外が記録されている場合



→ 対応する再生形式以外が記録されている場合  
(図では aacファイルが記録されています)、  
再生時に本機のディスプレイにはフォルダー  
番号は表示されません。

- フォルダーの中にフォルダーが作成されている場合



フォルダーの中に対応する音楽ファイルが記録されて  
いなければ、フォルダー番号は表示されません。

## 再生の順序

下図のように、USBメモリーに音楽ファイルが書き込まれた順に再生します。  
ファイルとフォルダーが混在する場合、直接保存されたファイルを優先して再生します。

(例)

USBメモリー内	作成日時	再生順
001.mp3	2015/04/01 12:30	②
002.mp3	2015/04/01 12:00	①
AAA	2014/01/01 12:00	
a001.mp3	2015/03/01 00:00	⑦
a002.mp3	2015/01/01 01:00	⑥
a003.mp3	2015/01/01 00:30	⑤
BBB	2013/01/01 12:00	
b001.mp3	2016/04/01 12:00	③
b002.mp3	2016/04/01 12:30	④

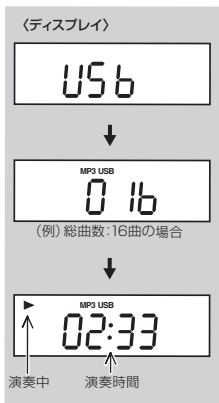


# USBメモリーの音楽データを聴く

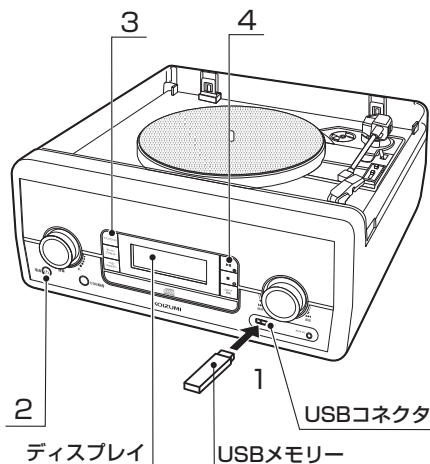
1. 再生する USB メモリーを前面のUSBコネクタに挿入する。

2. 「電源」ボタンを押し、「入」にする。  
 • ディスプレイが表示します。

3. 「ファンクション」ボタンを押し、ディスプレイの表示を [USB] にする。  
 • 総曲数が表示されます。



4. 「聴く／一時停止(▶||)」ボタンを押して、演奏を開始する。  
 • 1曲目から演奏が始まります。



音量を調節する	音量ダイヤルを回す。	曲の頭を探す (スキップ)	演奏中に	「スキップ/サーチ、選局」ダイヤルを右または左に回す。 • 「+10/フォルダー」ボタンを長押しすると10曲飛ばしで選曲できます。
演奏を止める	「止める(■)」ボタンを押す。		一時停止中/停止中に	「スキップ/サーチ、選局」ダイヤルを右または左に回す。 • 頭出しをした後、「聴く／一時停止(▶  )」ボタンを押すと演奏が始まる。 • 「+10/フォルダー」ボタンを長押しすると10曲飛ばしで選曲できます。
一時停止する	「聴く／一時停止(▶  )」ボタンを押す。 • 演奏に戻るにはもう一度押す。 (ディスプレイ: 02:33, 点滅)		早送りをする 早戻しをする	演奏中に
		フォルダーを選択する		「+10/フォルダー」ボタンを押す。

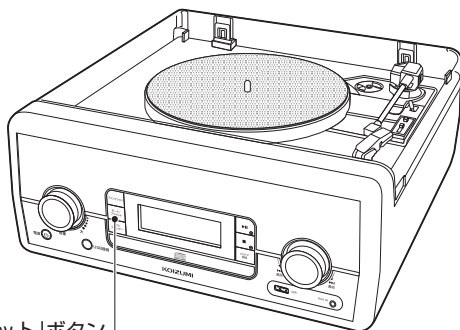
# USBメモリーの音楽データを聴く

## リピート演奏

演奏中／一時停止中に

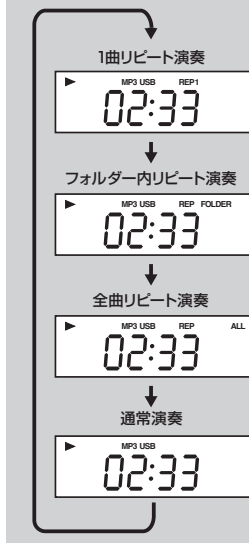
「モード/プリセット」ボタンを押し、リピート演奏のモードを選ぶ。

- 押すごとにリピート演奏のモードが変わります。



「モード/プリセット」ボタン

〈ディスプレイ〉



- 1曲リピート演奏 [REP 1] …… お好みの1曲を繰り返し演奏します。
- フォルダー内リピート演奏 [REP FOLDER] … フォルダー内の全曲を繰り返し演奏します。
- 全曲リピート演奏 [REP ALL] …… 全曲を繰り返し演奏します。

# レコードを聴く

## 1. ターンテーブルカバーをゆっくりと開け、レコード盤をセットする。

- ターンテーブルカバーを開閉するときは、手などを挟まないようにご注意ください。
- EP盤をセットする時はEPアダプターを使用します。

## 2. レコード盤の回転数に合わせ、回転数切換スイッチを切り換える。

- 回転速度は、「33、45、78」の3種類があります。

## 3. オートストップ機能を使用するときは、オートストップスイッチを「ON」に切り換える。

### • オートストップ機能について

レコード盤の再生が終わると、自動的にターンテーブルの回転が停止します。

### ご注意

- オートストップ機能を使用しないときは、再生が終わってもレコード盤が回転を続けるためレコード盤やレコード針を傷める可能性があります。
- SP盤・EP盤の場合、演奏の途中で停止することがあります。

## 4. 「電源」ボタンを押し、「入」にする。

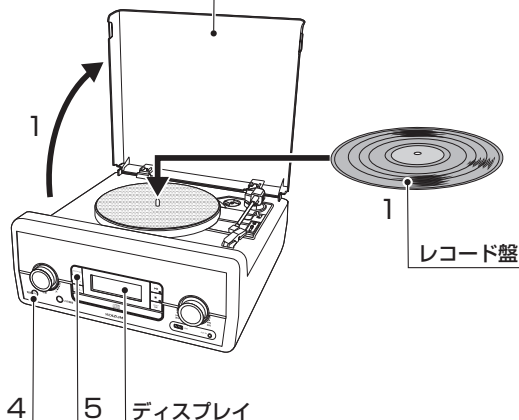
- ディスプレイが表示します。

## 5. 「ファンクション」ボタンを押し、ディスプレイの表示を「PHO」にする。

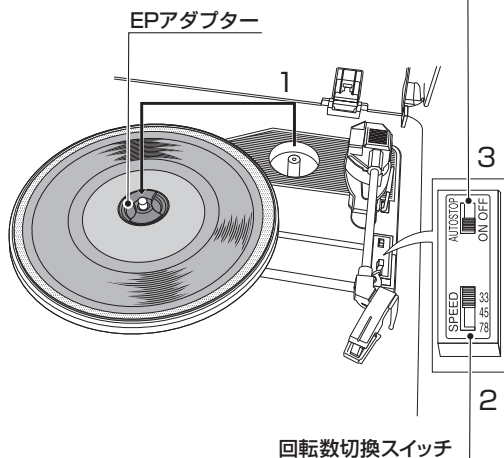
- オートストップスイッチが「OFF」のときは、ターンテーブルが回転します。

### ターンテーブルカバー

- 1番上までしっかり上げてください。



### オートストップスイッチ



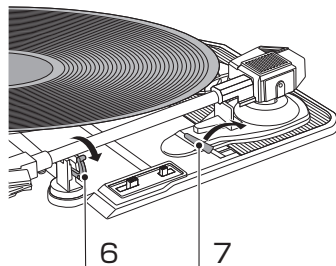
(ディスプレイ)



# レコードを聴く

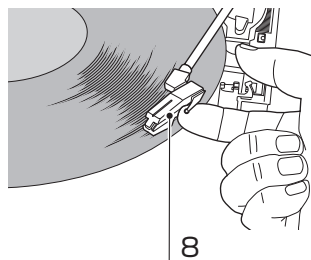
6. アームロックレバーを外す。

7. アーム上昇・下降レバーを右図の矢印の方向に傾けて、アームを上げる。



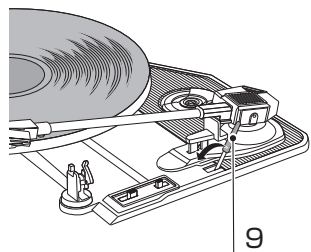
8. レコード盤の外側の端または、再生したい箇所の上までアームを移動する。

- オートストップスイッチが「ON」のときは、ターンテーブルが回転します。



9. アーム上昇・下降レバーを右図の矢印の方向に傾けて、アームを下げる。

- レコード針がゆっくり下降し、レコード盤と接触することで、演奏を開始します。



## ご注意

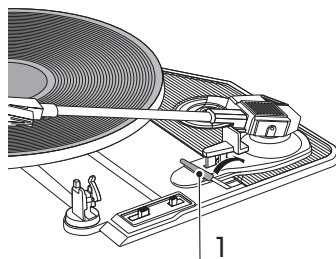
- レコード盤の再生中に本機に振動を与えると、レコード針が溝を超えて移動し、レコード盤やレコード針を傷める可能性があります。
- 再生が終わった後は、アーム上昇・下降レバーでアームを上げてください。

音量を調節する 音量ダイヤルを回す。

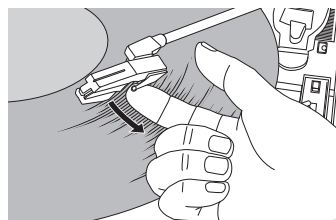
# レコードを聴く

演奏終了後

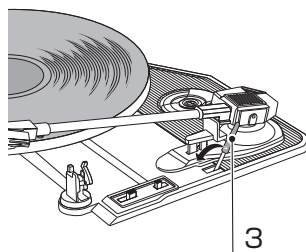
1. アーム上昇・下降レバーを右図の矢印の方向に傾けて、アームを上げる。



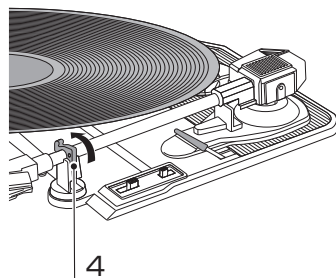
2. アームロックレバーの上までアームを移動する。



3. アーム上昇・下降レバーを右図の矢印の方向に傾けて、アームを下げる。



4. アームロックレバーで固定する。



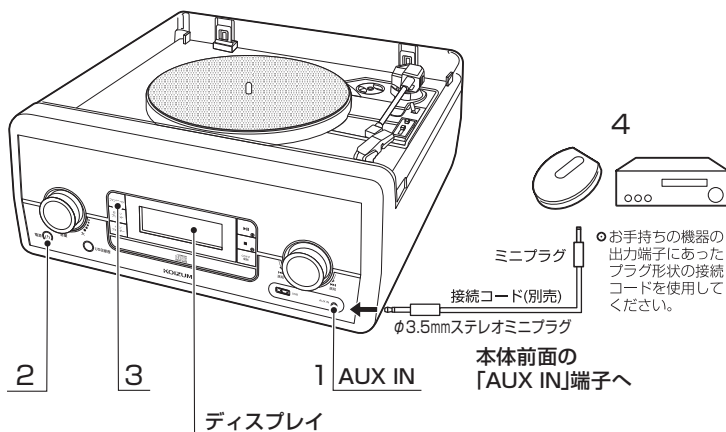
# 1 他の音響機器をつないで聴く

他の音響機器をつないで、本機をスピーカーとして使用することができます。

1. 本体前面の「AUX IN」端子と、他の音響機器の音声出力端子を接続コード(別売)でつなぐ。
2. 「電源」ボタンを押し、「入」にする。
  - ディスプレイが表示します。
3. 「ファンクション」ボタンを押し、ディスプレイの表示を[AUX]にする。



4. 接続した音響機器の演奏を開始する。



## 音量に過不足を感じるとき

本機と接続した他の音響機器の両方の音量を調節する。  
※接続した他の音響機器の出力が小さく、音がうまく聴こえない場合があります。

## 演奏を止める

1. 接続した他の音響機器を止める。
2. 「電源」ボタンを押し、「切」にする。
  - ディスプレイの表示が消えます。

# 1 他の音響機器で演奏を聴く

他の音響機器とつないで、音響機器のスピーカーから聴くことができます。

※本機と他の音響機器をつないでも、本機のスピーカーから音が出ます。

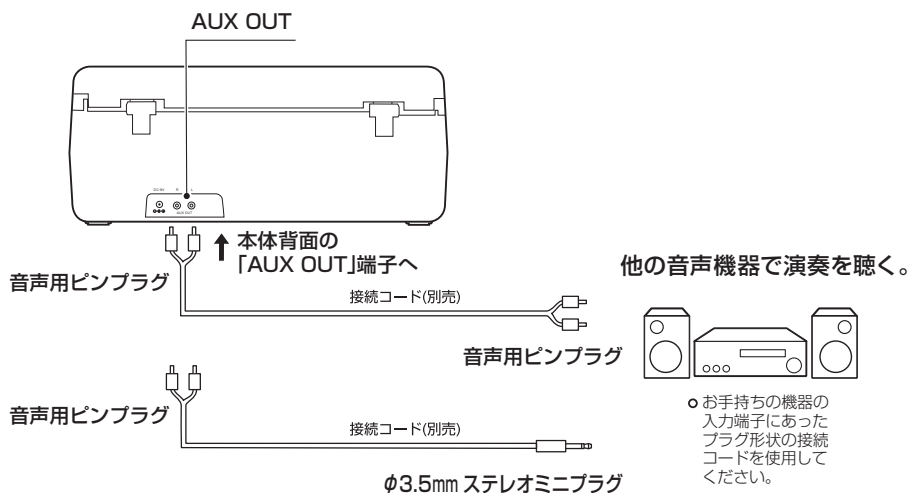
他の音響機器を本機につなぐときは、本機の音量を下げます。

1. 本体背面の「AUX OUT」端子と、他の音響機器の音声入力端子を接続コード(別売)でつなぐ。

2. 「電源」ボタンを押し、「入」にする。

- ディスプレイが表示します。

3. 本機でお好みの演奏を開始する。



音量に過不足を感じるとき

本機と接続した他の音響機器の両方の音量を調節する。

※接続した他の音響機器の出力が小さく、音がうまく聴こえない場合があります。

演奏を止める

本機の演奏を止める。

## ご注意

- 他の音響機器と本機につなぐときは、本機の音量を下げてください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間聴くことは避けてください。

# USBメモリーに録音する

## 録音データについて

USBメモリーの容量がいっぱいになると、自動的に録音が止まります。  
不要なデータを削除してから録音してください。

※本機にUSBメモリー内の音楽データを削除する機能はありません。

パソコンなどで削除してください。削除方法につきましては、パソコンメーカーにお問い合わせください。

## CDから録音する

※録音した曲は、自動で作成されるフォルダー（RIP）の中にビットレート128kbpsのMP3形式として保存されます。

※CD1枚を自動的に録音することはできません。

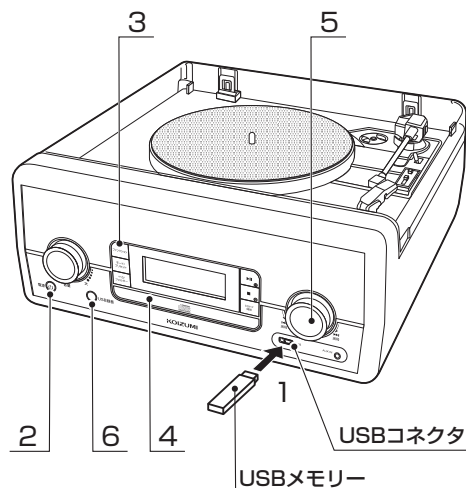
1. 録音する USB メモリーを前面の USB コネクタに挿入する。
2. 「電源」ボタンを押し、「入」にする。
  - ディスプレイが表示します。
3. 「ファンクション」ボタンを押し、ディスプレイの表示を [cd] にする。
4. 「CDを聴く」(P.11)に沿って録音するCDをセットする。

### 1曲のみ録音する場合

5. 「スキップ/サーチ、選局」ダイヤルを右または左に回し、録音する曲を選ぶ。
6. 「USB録音」ボタンを押し、録音を開始する。

### 複数の曲を録音する場合（最大20曲まで）

5. 「プログラム演奏」(P.13)に沿って、録音する曲を予約する。
6. 「USB録音」ボタンを押し、録音を開始する。



### 録音を止める

「USB録音」ボタンまたは、  
「止める(■)」ボタンを押す。

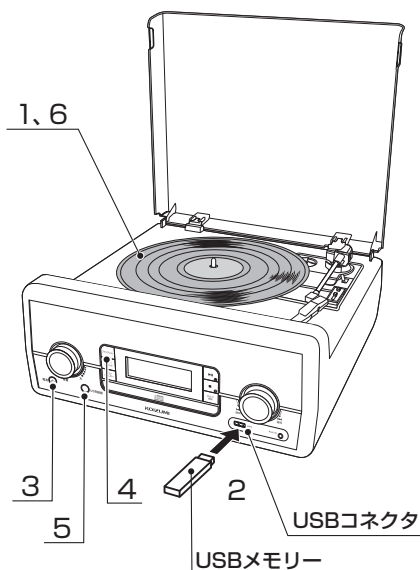


# USBメモリーに録音する

## レコード盤から録音する

※録音した曲は、自動で作成されるフォルダー (REC)の中にビットレート128kbpsのMP3形式として保存されます。

1. 「レコードを聴く」(P.18)に沿って録音するレコード盤をセットする。
2. 録音する USB メモリーを前面のUSBコネクタに挿入する。
3. 「電源」ボタンを押し、「入」にする。
  - ディスプレイが表示します。
4. 「ファンクション」ボタンを押し、ディスプレイの表示を[PHO]にする。
5. 「USB録音」ボタンを押して、録音を開始する。
  - 録音は「USB録音」ボタンをもう一度押すまで続きます。
6. 「レコードを聴く」(P.18)に沿ってレコード盤の再生を開始する。



### ご注意

- 「USB録音」ボタンを押してから録音を開始するまで、約5秒かかります。

### 録音を止める

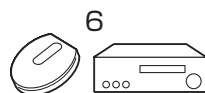
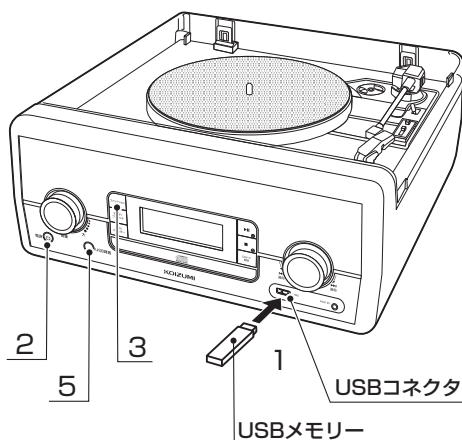
「USB録音」ボタンまたは、「止める(■)」ボタンを押す。

# USBメモリーに録音する

## 他の音響機器から録音する

※録音した曲は、自動で作成されるフォルダー (REC)の中にビットレート128kbpsのMP3形式として保存されます。

1. 録音する USB メモリーを前面のUSB コネクタに挿入する。
2. 「電源」ボタンを押し、「入」にする。
  - ディスプレイが表示します。
3. 「ファンクション」ボタンを押し、ディスプレイの表示を[AUX]にする。
4. 「他の音響機器をつないで聴く」(P.21)に沿って他の音響機器を本体につなぐ。
5. 「USB録音」ボタンを押し、録音を開始する。
6. 接続した音響機器の演奏を開始する。



他の音響機器の演奏を開始

### ご注意

- 「USB録音」ボタンを押してから録音を開始するまで、約5秒かかります。

録音を止める

「USB録音」ボタンまたは、「止める(■)」ボタンを押す。

# お手入れのしかた

## 本体のお手入れ

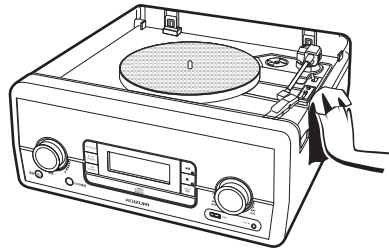
乾いた布などで拭いてください。

### 汚れがひどいとき

中性洗剤をうすめて布にふくませ、よく絞ってから汚れを拭きとってください。その後、から拭きしてください。

### ご注意

ベンジンやアルコール、シンナーなどでは拭かないでください。  
本体を傷める原因となります。



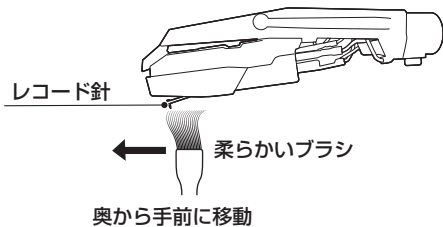
## レコード針のお手入れ

### レコード針が汚れた場合

レコード盤を長時間再生しているとレコード針が汚れます。レコード針のお手入れは柔らかいブラシなどを使用して奥から手前に拭いてください。違う方向から拭くとレコード針を痛めることがあります。

### ご注意

レコード針をお手入れするときは、電源を必ず切ってください。



### レコード針の交換

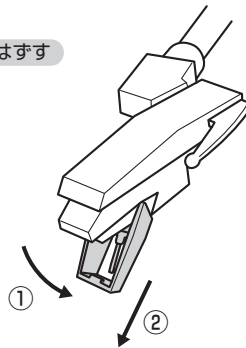
レコード針は長時間再生しているとすり減って音が悪くなったり、レコード盤を痛めることがあります。約200時間使用したら、当社指定のレコード針にお取替えください。(P.30参照)

交換方法は、下記の手順で行ってください。

### はずす

先端を①の方向に押し下げて、②の方向に引いてはずす。

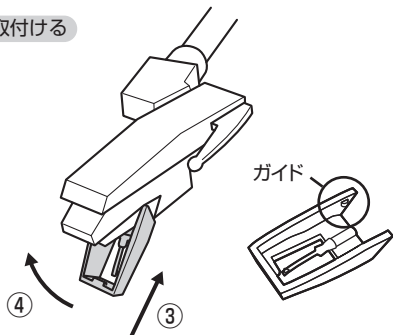
はずす



### 取付ける

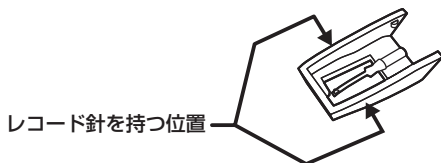
ガイドが引っかかるように③の方向に差し込み、④の方向にしっかり固定されるまで押し上げる。

取付ける



### ご注意

レコード針は、両側を持つようにしてください。  
他の場所を持つとレコード針を痛める可能性があります。



# 仕様

## ●CD部

再生可能ディスク	CD、CD-R、CD-RW
再生可能フォーマット	CD-DA

## ●ラジオ部

受信周波数	FM 76 ~ 108MHz
-------	----------------

## ●レコード部

駆動方式	ベルトドライブ
回転速度	33 $\frac{1}{3}$ 、45、78 rpm
レコード針	ルビー
カートリッジ	セラミックステレオタイプ

## ●USBメモリー部

再生形式	MP3、WMA
対応メモリー	128MB ~ 32GB、USB フラッシュメモリー
再生可能USB規格	USB-IF 規格認証品 (USB2.0)

## ●共通部

実用最大出力	1.5W + 1.5W (JEITA)	消費電力	15W
スピーカー	7cm(4Ω)×2	最大外形寸法	約360(幅)×370(奥行)×155(高さ)mm
入力端子	AUX端子 (φ3.5mmステレオミニプラグ)	質量	約3.1kg
出力端子	音声用ピンプラグ (RCA×2)	付属品	ACアダプター (型番:SAD-9020)、 交換用レコード針、 取扱説明書 (本書)、保証書
電源	AC100V 50/60Hz (付属ACアダプター使用時)		

## ●ACアダプター (型番:SAD-9020)

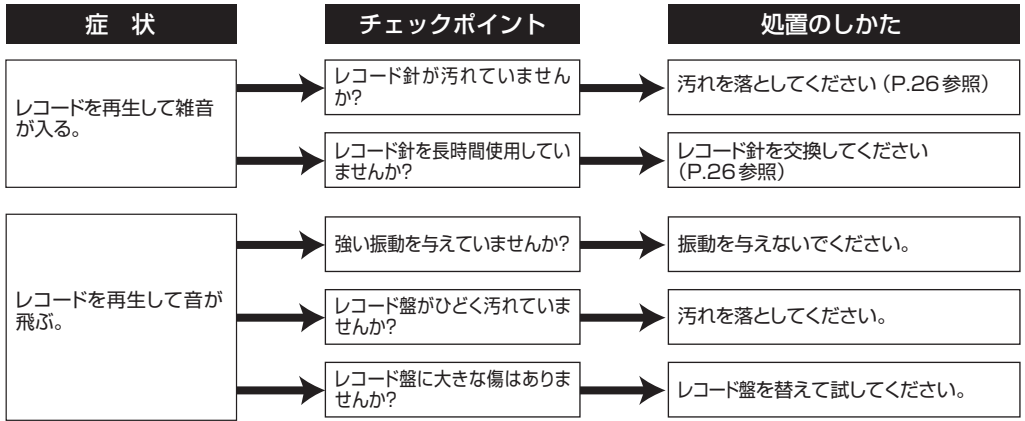
入力	AC100-240V 50/60Hz 350mA	コード長	約1.5m
出力	DC9V 1.2A		

※本機の仕様および外観については、改良のため予告なく変更することがあります。

# 故障かな？と思われたときは

症状	チェックポイント	処置のしかた
電源が入らない。	ACアダプターが抜けていませんか？	ACアダプターを確実に差し込んでください。
CDの演奏が始まらない。  CDが入っているのに [No], [Err]と表示する。	CDの表裏を間違えていませんか？	ラベル面を上にしてください。
	レンズに露や水滴がついていませんか？	CDを取り出してCDドアを開け、1時間程置いてください。
	CDが汚れていませんか？	汚れを落としてください。
	CD-R、CD-RWが入っていませんか？	CD-R、CD-RWによっては正常に使用できない場合があります。
CDを再生して音が飛ぶ。	強い振動を与えていませんか？	振動を与えないでください。
	CDがひどく汚れていませんか？	汚れを落としてください。
	CDに大きな傷はありませんか？	CDを替えて試してください。
ラジオに雑音が入る。	他の電子機器を近くで使用していませんか？	他の電子機器を離してください。
	テレビの近くで使用していませんか？	テレビから離してください。 またはテレビの電源を切ってください。
	電波の届きにくいところで使用していませんか？	本機の位置を窓際に移動してください。
USBメモリー内の音楽データを再生できない。	MP3ファイル・WMAファイル以外のデータ形式で記録していませんか？	本機で再生できるデータ形式はMP3ファイル・WMAファイルのみです。 パソコンなどで音源をあらかじめMP3ファイル・WMAファイルに変換してください。
	USBメモリーがUSBコネクタにしっかり差し込まれていますか？	しっかり差し込んでください。

# 故障かな？と思われたときは



# 消耗部品について

## ● レコード針は消耗部品としてお買い求めいただけます。

消耗部品を依頼される場合は、お買い上げの販売店か、保証書に記載の小泉成器株式会社「部品センター」にお問い合わせください。

名称	型番
レコード針 (2本入り)	SAA-02P

# アフターサービスについて

## 1. 保証書

- 保証書は別途添付されています。

保証書はお買い上げの販売店で「販売店名・お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

## 2. 修理を依頼されるとき

- 保証期間中は

商品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。保証の記載内容により無料修理いたします。

- 保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

## 3. 補修用性能部品の保有期間

- マルチレコードプレーヤーの補修用性能部品の保有期間は製造打切後6年です。

補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 4. アフターサービスについてご不明の場合

- アフターサービスについてご不明の場合には、お買い上げの販売店か、保証書に記載の小泉成器株式会社「修理センター」にお問い合わせください。

## 愛情点検

## ★長年ご使用の音響機器の点検を！



ご使用の際  
このようなことは  
ありませんか

- 電源コードやACアダプターが異常に熱い。
- 電源コードに深いキズや変形がある。
- コゲくさい臭いがする。
- その他の異常、故障がある。

ご使用  
中止

このような症状の時は、故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントからACアダプターを抜いて必ず販売店にご相談ください。

## お客様の個人情報のお取り扱いについて

お受けしましたお客様の個人情報は当社個人情報保護方針に基づき適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託をする場合及び法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行ないません。

〈利用目的〉

お受けしました個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせ及び修理対応のみを目的として使用させていただきます。尚、この目的のために小泉成器株式会社及び関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

〈業務委託の場合〉

上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を実施させるとともに適切な管理・監督をいたします。

## お客様相談窓口

この商品に関するご意見・ご質問については下記へお寄せください。

### ご意見・ご質問について

#### お客様相談窓口



ナビダイヤル  
(全国共通番号)

0570 (07) 5555

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号 TEL. 06 (6262) 3561 FAX. 06 (6268) 1432

### 修理に関するお問い合わせ

#### 東日本修理センター



ナビダイヤル  
(全国共通番号)

0570 (05) 8888

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒344-0127 埼玉県春日部市水角1190 TEL. 048 (718) 3340 FAX. 048 (718) 3350

#### 西日本修理センター



ナビダイヤル  
(全国共通番号)

0570 (05) 8888

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号 TEL. 06 (6613) 3145 FAX. 06 (6613) 3196

### 部品に関するお問い合わせ

#### 部品センター



ナビダイヤル  
(全国共通番号)

0570 (00) 3211

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号 TEL. 06 (6613) 3211 FAX. 06 (6613) 3299

## 小泉成器株式会社

〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号  
TEL. 06 (6262) 3561 FAX. 06 (6268) 1432

受付時間：平日9:00~17:30  
(土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く)

2016年12月現在(所在地、電話番号などについては変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。)